

第3回「下地島空港活性化協議会」開催 および「評価検証委員会」の設置・開催に関するお知らせ

下地島空港活性化協議会（会長：座喜味一幸）は2月10日(水)、第3回協議会を開催しましたのでお知らせいたします。本協議会は、下地島空港への就航路線に係る受入環境整備や航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業を立案し実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、（一社）宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社（以下、「SAMCO」）が立ち上げた組織です。

第3回協議会の冒頭、会長を務める宮古島市座喜味市長より以下の通り挨拶がありました。

「下地島空港は宮古島市における観光や経済の大きな基盤であり、本空港の活性化は非常に重要である。下地島空港活性化は、観光のみならず、農林水産業など他の産業にも大きな波及効果が期待されるものであり、地域が一丸となり様々な取組みを進めていきたい。」

その後、SAMCOより下地島空港の利用状況について報告がなされ、航空路線の維持・拡大に向けた施策について意見交換が行われたほか、羽田空港発着枠政策コンテストにおいて提案を行った取組みに係る進捗状況の共有ならびに今後に向けた協議が行われました。 ※詳細については別紙2：「2020年度に実施した主な取組み」参照

本協議会は、今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古諸島のさらなる活性化を目指します。

また、2月15日(月)には、協議会および運航会社の取組み、並びに羽田空港発着枠政策コンテストにおいて設定した目標の達成度について評価・検証を行うための「評価検証委員会」が開催されました。同委員会は下表の委員にて構成され、今後年1回の開催を予定しております。

（委員名簿） ※詳細については別紙1：「評価検証委員プロフィール」参照

氏名	職業・役職
下地 芳郎 （委員長）	（一財）沖縄観光コンベンションビューロー [以下、「OCVB」] 会長
上地 恵龍	沖縄キリスト教学院大学 副学長
幕 亮二	北九州市立大学大学院 特任教授

第1回「評価検証委員会」において、委員長を務めるOCVB下地芳郎会長より以下の通り挨拶がありました。

「評価検証委員会の役割は、下地島空港活性化協議会が設定したKPIの達成度、並びに達成に向けての具体的な取組みについて評価・検証することである。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行により、協議会の取組みにも大きな影響が及んだものと考えられ、今年度の取組みのみで評価を行うことは難しい。ただ、厳しい環境の中でどのようなことに取り組んでいるか、また今後どのようなことに取り組んでいくかという点は、確実に羽田＝下地島路線の評価につながると考えられるため、委員会として地域活性化を応援していきたい。」

その後、下地島空港活性化協議会が作成したモニタリングレポートをもとに各種取組みに関する評価が行われたほか、今後取り組むべき事項等について意見が交わされました。

■ 第3回「下地島空港活性化協議会」概要

日時： 2021年2月10日（水）10:00～11:30

場所： 宮古島市会議室 ※一部会員はオンラインにて参加

出席者： ●「下地島空港活性化協議会」会員

座喜味 一幸 宮古島市長（協議会会長）

渡久地 一浩 沖縄県文化観光スポーツ部長

下地 義治 宮古島商工会議所 会頭

平山 茂治 （一社）宮古島観光協会 専務理事

伴野 賢太郎 下地島エアポートマネジメント株式会社 代表取締役社長

■ 第1回「評価検証委員会」概要

日時： 2021年2月15日（月）15:00～16:30

場所： オンライン

出席者： ●「評価検証委員会」委員

下地 芳郎 （一財）沖縄観光コンベンションビューロー 会長（評価検証委員会委員長）

上地 恵龍 沖縄キリスト教学院大学 副学長

幕 亮二 北九州市立大学大学院 特任教授

別紙 1 :

下地島空港活性化協議会 評価検証委員 プロフィール

委員長

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長

下地 芳郎（しもじ よしろう）氏

1981年明治大学卒業、2009年立教大学大学院修了。1981年に沖縄県職員として採用、沖縄県文化観光スポーツ部観光政策統括監などを経て2013年に沖縄県を退職。琉球大学観光産業科学部長と同大学院観光科学研究科長などを経て2019年6月より現職。



沖縄キリスト教学院大学 副学長

上地 恵龍（うえち けいりゅう）氏

1974年3月琉球大学法文学部商学科商学士、2004年より首里観光株式会社（出向）代表取締役社長、2006年6月より株式会社 JAL ホテルズ専務取締役。2008年10月琉球大学観光産業科学部観光科学科教授に就任、2017年4月沖縄キリスト教学院大学特任教授を経て2019年4月から現職。



北九州市立大学大学院 特任教授

幕 亮二（まくりょうじ）氏

1991年早稲田大学大学院経済学研究科修了、1991年に株式会社三菱総合研究所に入社し25年勤務、集客・交流コンサルティングチームリーダー、空港民営化事業チームリーダーを経て退職。2017年5月、株式会社 MK 総合研究所を起業し代表取締役所長を経て、2019年4月から現職。



別紙 2 :

2020 年度に実施した主な取組み

新型コロナウイルス感染症拡大の影響でイベント開催・出展等によるプロモーション活動が限定的になったものの、コロナ禍における安心安全な観光地づくり、将来的な誘客に向けたオンライン旅行商品造成など新しいスタイルの旅の需要開拓、観光地としての認知度向上に努めました。

実施事項	概要・参考画像等	関係機関
安心安全な観光地、持続可能な観光地づくりに向けての施策		
<p>安心安全な観光地づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対策を行いつつ安全安心に旅を楽しんでいただけるよう、観光客・島民双方へのマスク着用啓蒙ポスター・横断幕を作成、コロナ対策実施済店舗を紹介するウェブサイトを公開 ・ 観光・飲食等の関連事業者向けに消毒液の提供、非接触体温計の貸与などを実施 	<p>宮古島市 宮古島観光協会</p>
<p>環境保全意識向上に向けた取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全に関する啓発や観光マナーを記載した「エコパスポート」をクラウドファンディングにより宮古島市が発行 	<p>宮古島市</p>
新しいスタイルの旅の需要開拓 等		
<p>オンライン体験ツアー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄エリアへの将来的な誘客を図るべく、オンライン旅行商品造成をサポートするためのセミナーの実施、「リトハク」におけるオンライン旅行商品の紹介等を実施 	<p>沖縄県</p>
<p>スポーツ合宿・キャンプ誘致</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度宮古島市に「スポーツ合宿受入ワンストップ窓口」を創設すべく検討中 ・ サイクリスト向け雑誌宛情報提供した結果、特集記事が掲載されるなど、自転車合宿誘致活動を実施 	<p>宮古島市 スカイマーク SAMCO</p>
<p>ワーケーション推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮古島市にてワーケーションモニターツアーを実施 ・ 沖縄県にて宮古島を含むワーケーションモデルプランを制作中 	<p>沖縄県 宮古島市</p>

DESTINATION並びに路線認知度の向上

<p>首都圏における路線認知向上に関する取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京丸の内・横浜の商業施設におけるデジタルサイネージ広告を展開（三菱地所〔下地島空港ターミナル所有者〕所有施設） ・ 首都圏鉄道における交通広告を実施 	<p>スカイマーク SAMCO（+ 三菱地所） 宮古島観光協会</p>
<p>地元住民向け告知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元住民への路線認知度向上のため、新聞広告・ラジオCM・フリーペーパー記事広告掲載・宮古島市広報誌への記事掲載等を実施 	<p>スカイマーク SAMCO 宮古島市</p>
<p>旅行会社招へい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の旅行商品造成につなげるため、ツーリズム EXPO 沖縄開催に合わせて旅行会社を招へいし宮古諸島の視察を実施 ・ インバウンド向けオンライン旅行代理店含む 7 社が参加 	<p>沖縄県 宮古島観光協会 SAMCO</p>



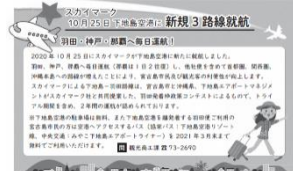
横浜ランドマークタワーデジサイ



交通広告



宮古ストーリー 2020年12月号



広報みやこじま 令和2年11月号